

上智大学グリークラブ OB会ニュース

2009年度 第4号

2010年4月24日発行



OB合唱団の練習風景

CONTENTS ～目次～

- ・ 会長挨拶
- ・ OB合唱団便り
- ・ 4大学OB合唱団合同演奏会について
- ・ 金祝を迎えて
- ・ 現役からの活動報告
- ・ 会計からのお願い
- ・ 2009年度OB会総会及びファミリーパーティについて
- ・ Dr. Tomの演奏のための音楽の解釈の一助 その1～ルネサンス・ポリフォニーを楽しむ～
- ・ フォトギャラリー ～現役とその部室 くつろぎの時間～
- ・ レッツ トライ！ クロスワードパズル！
- ・ 広報からのお知らせ

～お知らせ～【振込用紙の同封について】

今回のOB会ニュースに振込用紙が同封されている場合は、会計上、平成21年度分（平成21年5月～平成22年4月）の年会費（4000円）が未納入であることを示しております。多くの方々にご協力いただきたく存じますので、同封の有無をご確認のうえ、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

会 長 挨拶

佐野 鑛治（昭和 39 年卒）

春は名のみ 風の寒さや と云いたいほど、今年の春は寒暖の差が激しく、寒い日は極端に寒く感じますが、会員の皆様は如何ですか？（お前も歳だな などと云わないでください。私の住んでいるところは標高 1,000m なのです。） でも、母校上智大学のキャンパスでは春は着実に来ているようで、現役のグリークラブ荒木部長、東海林前部長からフレッシュマンの入部が 10 名を越すかも・・・と嬉しいニュースが飛び込んできました。現部員の自主的な勧誘活動の結果ですからなお嬉しいと、現役担当役の古賀さん（40 年卒）の言葉です。5 月 30 日のファミリーパーティーで、20 名を越す現役が顔を見せ、声を聞かせてくれるかもしれません。

今年度も大変忙しく過ぎようとしています。‘09 年 6 月 28 日創部 55 周年記念演奏会、7 月 25 日 OB 合唱団設立、12 月 23 日第 61 回グリークラブ定期演奏会賛助、そして年が変わって ‘10 年 2 月には故北村協一先生のご遺志を実現すべく、ミッション系 4 校（関学、同志社、立教、我々上智各大学）によるデュオパの荘厳ミサ全曲演奏会のマネージャー会（OB 合唱団中尾音楽技術 D、上田運営 D が参加）が発足しています。

私は、故堀川前会長の後を継ぎ、就任後 5 年が経ちましたところで、若手にバトンタッチをと考えていました。上智大学創立 100 年記念事業を支援する企画としてオールソフィアンの参加する慈善大音楽祭をソフィア会に提言し、OB 会にも同期の池田宥三氏に創立 100 年記念対策室をお願いしていることもあり、もう 1 年は頑張らねばと勝手に考えていますが、5 月 30 日の OB 会総会で皆さまのご判断をお願いしたいと思っています。

若葉薫る候、オールソフィアンズデイのファミリーパーティー、OB 会総会の席で一人でも多くの OB 会メンバー、そのご家族にお目にかかれるのを楽しみにしています。なお、当日、金祝祝賀会の冒頭でグリー OB・現役が校歌などを歌う予定ですが、初めてのことで良い機会を頂いたので、グリーらしい響きを金祝受賞者ならびに理事長、学長、大学関係者に聴いて頂きたいと思えます。是非、大勢の参加をお願いします。（1960 年卒グリー金祝該当者は田中顧問以下 18 名です。おめでとうございます。ただ杉山、堀川、吉岡 3 氏が故人となりました。残念です。）

OB 合唱団便り

OB 合唱団 運営 D 上田哲也（昭和 47 年卒）

四谷の土手の桜も散り、新緑の季節を迎えますが OB の皆様はいかがお過ごしですか。

OB 合唱団発足から 9 ヶ月が過ぎました。昨年末のグリークラブ第 61 回定期演奏会の現役との合同で一区切りがつき、今年より新しい活動がスタートしました。

まずビッグイベントとして OB 合唱団第 1 回定期演奏会を開催いたします。中尾音楽技術 D の報告にありますように、来年 3 月に予定されていた 4 大学 OB 合唱団合同演奏会が再来年の 1 月に延期されたこともあり、第 1 回定期演奏会を来年 7 月に行うことに決まりました。

プログラムは次の通りです。

1. 宗教曲
2. 男声合唱組曲「人間の歌」 作曲 多田武彦 作詩 堀口大学
3. トスティ歌曲集

そしてもう1ステージを現役か他団体の賛助出演を予定しています。

宗教曲は「西洋ポリフォニーは古今を問わず手掛けることが必要」とおっしゃる太田先生の指導で選曲していただいた4曲です。

「人間の歌」は昭和35年に初めて多田先生に委嘱作品をお願いした組曲で、外山浩爾先生の指揮で初演をしています。今回は太田先生の指揮で演奏いたします。

ちなみに上智グリーとしてこれまで多田先生の委嘱作品が6曲ありますが、これから1曲づつ順番に演奏して行こうと言う計画でその第1回目になります。

トスティは皆さんよくご存知ですが、北村先生の編曲を中心に数曲を指揮・篠崎さん、ピアノ伴奏・久邇先生で演奏いたします。

その他の活動として、今年末のグリークラブ第62回定期演奏会賛助で現役との合同演奏、来年1月22日に聖イグナチオ教会での4大学OB合唱団による「荘厳ミサ曲」(抜粋)の演奏が予定されています。

練習は月2回、基本的に第2土曜日と第4日曜日に大学内で、まず宗教曲から練習を始めています。今年12月までの練習スケジュールは下記の通りですので、ご都合のつくときは是非一度覗いてみてください。

順調に滑り出したOB合唱団ですが悩みもあります。

それはメンバー構成の高年齢化です。団塊の世代が還暦を迎えたこともあり日本の社会全体がそうですが老人パワーは凄いです。当合唱団も御多分に漏れず皆さんも大変元気で結構なんです、もう少し若い方も歌いに来ていただけないかと思う次第です。お仕事にご家庭にとお忙しい方も、ちょっとした余暇に学生時代を思い出してもう一度歌ってみませんか。お誘いの声がかかるかもしれないませんが、皆さんのライフスタイルに合わせた中でちょっと顔を出していただけませんかと思っていますのでよろしく願いいたします。

練習スケジュール

4月 3日(土)、25日(日)	土曜日 13:00~16:30
5月15日(土)、23日(日)	日曜日 10:00~16:30
6月12日(土)、27日(日)	日曜日は太田先生の練習です
7月10日(土)、25日(日)	(但し4月25日は篠崎さんの練習)
8月 7日(土)、29日(日)	
9月11日(土)、26日(日)	
10月 9日(土)、24日(日)	
11月13日(日)、28日(日)	
12月11日(日)、26日(日)	

4大学OB合唱団合同演奏会について

OB合唱団 音楽技術D 中尾照夫(昭和44年卒)

前号でお知らせした表記について、その後の状況をお知らせいたします。

この2月に、4大学のマネージャー会が発足いたしました。その席上、4大学OB合唱団で北村先生のご遺志を実現する合同演奏会を実行することの意志確認をいたしました。

太田先生指揮でデュオーパの「荘厳ミサ」全曲を合同演奏することも確認いたしました。実行時期について変更せざるを得ない状況となりました。ご存知のとおり「荘厳ミサ」全曲は演奏のみで約40分かかります。しかも全曲演奏の経験はわれわれ上智のみともいえる状況では、いろいろな行事をかかえる他の3大学には約1年間で全曲を仕上げるのはスケジュール的に非常に困難であるとの意見が多く、やむなく来年3月の当初予定を延期することとなりました。ただし延期する条件として具体的なスケジュールを検討し合意いたしましたので下記いたします。

他の3大学OB合唱団はそれぞれに他団体とのジョイントコンサートを定期的に行っていますし、今年はずでに海外演奏旅行の予定が決まっていますので、デュオーパの「荘厳ミサ」全曲を仕上げる時間的余裕がないというのが主要因です。

当初予定 2011年3月13日 (北村先生ご命日)

変更後 2012年1月 本番コンサート

2011年1月22日(土) 聖イグナチオ教会で抜粋演奏

演奏会自体は約10ヶ月延期されます。ただし、荘厳ミサから数曲(Kyrie, Gloria, Agnus Deiの予定)を、来年1月18日~25日の間の「一致祈禱週間」に合同で聖イグナチオ教会大聖堂で演奏すべく、田中OBライフ委員長を中心に教会・大学当局に要請し詰めをおこなった結果、来年1月22日(土)午後 大聖堂での「荘厳ミサ」演奏が許可されました。

今後、4大学合同マネージャー会で練習スケジュール等の検討を行い、近日中にお知らせできるものと思います。

このような状況を踏まえ、この夏以降「荘厳ミサ」の練習を開始する予定で、4大学合同演奏会への参加申し込み手続きの準備をいそいでおります。2007年10月の北村協一メモリアルコンサートにご参加いただいたOB諸兄は全曲の経験をしています。そうでない方は一度も歌ったことのない曲もあることと思います。特に太田先生の練習に入りますと、他大学の方々も合流してくる予定ですし、譜読みをとばしてアンサンブルからということになると思われますので、事前に各自で譜読みを終わらせてください。そのためのツールは準備いたします。

北村先生にご指導をいただいた4大学が協力して、太田先生の指揮のもと北村先生のご遺志にお応えしたいというコンサートです。どうぞ一人でも多くのOBにご参加いただきたいと思います。

立教は日本聖公会、関学はメソジスト教会、同志社は建学者新島襄がプロテスタントで教育理念の一つにキリスト教主義をうたっており、上智をふくめそれぞれ教派が違う4大学が合同で「荘厳ミサ」を演奏するというのが「一致祈禱週間」の主旨にかなうものとして、大聖堂での演奏が認められたという経緯があります。しかも、生前北村先生が永年にわたり聖イグナチオ教会大聖堂でのデュオーパ「荘厳ミサ」演奏を切望されておりました。これも実現できるという大きな意味もあります。

※「キリスト教一致祈禱週間」とは、毎年1月18日から25日までの8日間と定めています。この期間は「父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。」(ヨハネ 17.21) と、切に祈られたキリストの心を大事にして祈る時です。

キリスト教会の歴史の中では、16世紀に宗教改革が起こり、キリスト教世界に対して、福音の純粋な精神に立ち戻るように呼びかけました。しかし、歴史の中で政治や民族抗争などが絡み、教会分裂と混乱が生まれました。20世紀になって、世界各地でキリスト者が教派を超えて一致しようという運動が盛んになりました。1968年以来、毎年テーマを決めて、一致のための祈りがささげられています。

長い間かかって出来た溝は、なかなかすぐにはうめられないものの、毎年この一致週間で祈ることにより、いつの日か信仰の上でも、組織の上でも、目に見える姿で一致を実現したいとの願いをこめて祈っています。(女子パウロ会 web ページより)

金祝を迎えて

田中立夫 (昭和 35 年卒)

昭和 35 年 (1960) に卒業した同期生は 400 名余り、今回金祝式典に発送された招待状は約 340 名でした。その中に 18 名のグリークラブメンバーがいますが、残念なことに大事な仲間 3 名を近年失い (杉山義、堀川均、吉岡晋也) とともに式典に参加することは出来ません。でも 5 月 30 日にはきっと一緒に参加してくれると信じています。

グリークラブの発展とOB会運営のために多大な功績を残してくれました。おかげで今日のグリークラブが脈々と続いていることは言うまでもありません。

OBと現役学生が一体となって活動を活発に行っている理想的なクラブであると大学にも評価していただいております。OB諸兄のご努力によるところ大であります。

当時の定期演奏会には同期の諸君がなげなしの小遣いをはたいて聴きに來てくれ大きな拍手に励まされた記憶が今も鮮明にあります。国電四ツ谷～渋谷¥10、昼食のもりそばが¥25、ラーメンが¥35の時代でしたからグリーのチケット¥100は大きな負担であったはずで

当時の学生ファンであった金祝の皆さんに是非グリーによるすばらしい校歌をプレゼントしてあげてください。

幸い当日行われる金祝 祝賀会の冒頭 (12 時 30 分) にて高祖理事長、石澤学長 (グリーンメン) 和泉ソフィア会会長、お元気な恩師モール先生、前ソフィア会事務局 星島主事 (グリーのよき理解者) をお迎えする際、グリーの校歌演奏でお迎えしたいとの希望が実行委員会より寄せられました。お招きした大学の柱とも言うべき 5 名の方々にはいつも変わらぬ温かいご支援を現役・OBに賜ってきませんが、感謝の演奏をしようではありませんか!

今後の現役のためにそして毎年行われる金・銀・銅祝をうけるOBのためにもグリー現役OB男声合唱による校歌演奏にご参加いただきたくご案内とお願いをいたします。

現役からの活動報告

上智大学グリークラブ部長

荒木 克也（情報理工3年）

OB会の皆様、こんにちは。新しく年度も変わり、グリークラブ執行部も入れ替わりました。そして、新しく私が部長になりました。一年間よろしくお願ひ致します。

【フレッシュマンウィーク開催！】

4月6日～4月9日の4日間、グリークラブの更なる部員獲得のために前年度よりも工夫を凝らした装飾・手法で勧誘を行いました。具体的には手で持つ看板を二つ、デスク用の大きな看板を3月ごろに作り、新入生に配られるサークル紹介・ブログにも力を入れました（実際にブログを見てグリーに興味を持って来た新入生もいます）。

執筆している今現在、フレッシュマンウィークの終了直後なのでまだ何とも言えませんが、結果として（入部してくれそうな人を）10人弱獲得致しました。去年のフレッシュマンウィークでは入部者は一人でしたが、今年は大幅に増えました。もちろん新入生のほうから来たケースもありますが、多くは積極的に声かけを行った結果だと思ひます。

初日、二日目、四日目には新入生歓迎の飲み会を行いました。来てもらった新入生は延べ人数で15人程度です（中にはフランス人の方も！）。二日目には何人かOBの方がいらっしやり、新入生と一緒に楽しく過ごすことができました。参加出来た現役は5人しかいなかったのですが、資金の工面がなかなか大変でしたが、OBの方6人に出資頂き、本当に助かりました。佐野様、泉様、金子様、篠崎様、鈴木飛鳥様、相川様、宮内様、この場を借りて改めて御礼を申し上げます。ありがとうございました。

【今後の活動】

さて、今後現役グリークラブの活動時間は若干変わります。今までの練習日は火曜 17:00～20:00・土曜 13:00～17:00 でしたが、今年度からは水曜 17:00～20:00・土曜 10:00～15:00 をメインに変更致します。火曜から水曜に変更したのは部員の他サークルとの時間の都合上、土曜の時間変更はもう少し朝の時間を有効活用しようと考えたためです。お昼を挟めば休憩代わりになり、終了時間を15:00にすることで少し長めに練習を延長できます。元々練習日であった火曜日はサブの練習日（パート練習やメイン練習日の振替等）と致します。ちなみにこのことは今年1月の時点で既に決定していて、部長や学生指揮者、会計等の役職もその時に決めました。

【最後に】

新入生がたくさん来てくれたとは言え、練習に来て定着してくれなければ部員とは呼べません。5月30日（日）に行われるオールソフィアンズデーの新入生紹介に、横に1列ずらっと10人並べられるようにしたいと思ひます。10人並べられないと何故か元部長の東海林が坊主にならなければいけないようです。

これからも変わらぬご支援とご協力をお願ひ致します！

会計からのお願い

会計マネージャー 鈴木 飛鳥（平成7年卒）

会計からは、皆様からの引き続きの年会費納入のご協力をお願い申し上げます。今回は、OB皆様各人の支払い状況も同封致しますので、ご確認いただければと存じます。また、会計からのお知らせですが、会計上では年度別に各人の納入状況を記録するとともに、一部の方に負担が偏らないよう、今年度分をすでに納入していただいた方に対しては振込用紙の同封を行わないようにしています。振込用紙の同封は、今年度分の納入がまだのようです、ご協力ください、というメッセージを込めていますので、今回同封されていた方々におかれましては、是非ご協力下さいますよう改めてお願い申し上げます。お振込みの際は、下記口座、または同封の郵便振替用紙をご利用ください。

よろしくお願い致します。

【お振込み先】

(1) 郵便振替

加入者名：上智大学グリークラブOB会

口座番号：00110-8-708952

※ゆうちょ銀行をご利用の際は、他の金融機関からの振込もできるようになりました。

銀行：ゆうちょ銀行

支店：〇一九（ゼロイチキュウ）店（店番：019）

種類：当座預金

口座名：上智大学グリークラブOB会

口座番号：0708952

(2) 銀行振込

銀行：三井住友銀行

支店：東京中央支店（店番：015）

種類：普通預金

口座名：上智グリークラブOB会

口座番号：3327282

2009年度OB会総会及びファミリーパーティーについて

チーフマネージャー 金子 澄人（平成4年卒）

さて、今年も来る平成22年5月30日(日)のオールソフィアンズデーに上智大学グリークラブOB会総会並びにファミリーパーティーを開催いたします。会場は例年通り1-403教室を予定しておりますが、開始時間等の当日のスケジュールにつきましては、現在調整中です。追って、御案内申し上げますので、是非現役の新入生を見に集まっていただけましたら幸甚に存じます。

<太田先生コラムについて>

本号より、OB合唱団常任指揮者太田先生に「演奏のための音楽の解釈の一助」というページをお願いいたしました。

先生は以前神戸芸術協会の機関紙に音楽よもやまばなしのようなページを担当されておりましたので、練習後の打ち合わせのうちにわがOB会ニュースにも何か執筆いただけないかとお願いしましたところ、折角の機会なので何か参考になればとご快諾をいただきました。

大変お忙しいところを、時間をさいて執筆いただきました。表題にあるように、解釈の一助と同時に読み物としてもお楽しみいただければと思います。

第1回は「ルネッサンス・ポリフォニーを楽しむーその1」です。今後数回にわたって執筆いただく予定です。練習の参考に、また合唱音楽の勉強に活用してください。できれば今後OB会ニュースに連載いただこうと考えています。どうぞお楽しみに。(中尾照夫)

Dr. Tom の

演奏のための音楽の解釈の一助

その1 ～ルネッサンス・ポリフォニーを楽しむ～

西洋音楽の時代を合唱の観点から大別してゆくと、ルネッサンス（西暦 1400～1600）、バロック（1600～1750）、クラシック「古典派」（1750～1820）、ロマンチック「ロマン派」（1820～1900）、そして 20 世紀～現代に分けることが出来ます。もちろんこのようにクリア・カットで歴史が変わる事はありませんし、各々初期・中期・後期と流れがあります。時代の流れに沿って発達してゆく音楽もありますし、音楽史研究者に iconoclastic（因習打破主義的）と呼ばれているベートーベンの様に「クーデター」的作品を世に送り出す作曲家もいます。また余談ですが、この音楽史の流れに乗って音楽が発展しているかどうかは、学者によって見解が異なるようです。極端な例は「合唱音楽はパレストリーナで頂点を極められ、その後は衰退していった」と言う意見もあるくらいです。

さて、ある楽曲を演奏するにあたり、大切な事の一つに「様式」があり、学術的には performance practice という研究ジャンルがあります。ある曲がどのように演奏されたかを調べ、それを今日の演奏の一助にする研究です。勿論（例えばルネッサンス期に）、誰も実際にその時代にいた人はいないし、はっきりしたことは言えませんので、文献やその時代の絵画等の資料を基に調べるものです。それでは前置きはこの位にして、この回はこの度選曲しました Constanzo Porta (c.1529-1601) の Deus tuorum militum を用いてルネッサンス・ポリフォニー（多声合唱曲）の何たるかとアプローチの仕方を書いてみようと思います。

先ずこの曲の作曲スタイルから入りましょう。この曲のテキストは3番からなり、楽譜を見られるとわかりますが、一番目の歌詞はグレゴリオ聖歌のスタイルで歌われます。即ちモノフォニック(mono - 単)で旋律が提示され、それがポリフォニーのセッティングの基になっています。ここで用いられる技法は paraphrase (パラフレーズ: 言い換え) と呼ばれるもので、もと歌をそのまま使わず、最初の数音以降は自由に作り替えられた旋律に他のパートが絡んでゆくものです。

では、具体的にどのように歌えば「ルネサンス風」になるのかを呈示してみましょう。ほとんどのルネサンス音楽には、いわゆる「拍子」と言うものはありません。ダウンビートにアクセントを持つ 3 拍子や 4 拍子とかで一括りにできない旋律です。基本的に一つの文節の中の重要な言葉の重要な音節が強調され、絶え間のない流れで歌われ、その結果旋律は「継ぎ目のないアーチ型」を形成します。その大きな旋律の中にその他の単語のアクセントが小さな山を作り、旋律を流して行くのです。「継ぎ目のなさ」は曲全体を通して有効で、曲の中間部における終止形はあまり行われず、全ての声部が携わる強い終止形は大きな区切りでのみ現れます。

テンポは基本的にメトロノームの 60~80 位、即ち人の心拍に近いものが選ばれます。そのテキストの精神的、そして詩的内容がテンポ決定を助けてくれます。ルバート等のテンポの揺れも基本的に行いません。速さが設定されれば安定したテンポで曲は流れて行きます。そもそも基本的にルネサンス音楽には、今日曲の最後の方で私達が良く使うスピード・ダウン (rallentando) は存在せず、その代わりに音符価値を長くする事でその効果を出すのです。

Deus tuorum militum の終わりの *noxam servulis* では長めの音符が使われているのがわかります。

適切な Dynamics (音の強弱) の取り扱いは、時代を問わず音楽一般で、作品の効果的な解釈と演奏のために重要な要素の一つです。言葉を扱う作品では、テキストから発生する気持ちの変化で決定されるべきでしょう。ルネサンスのモテットについては作品を通して基本的に穏やかで、「継ぎ目のないアーチ型」の旋律を構成するために、極度な音量のコントラストはある種のモテットを除いてあまり起きません。ただし同時代の曲でもマドリガルの様な世俗曲の場合は、はっきりとした音量のシフトがある場合が多く、かなり演奏家に解釈を任される「自由度」が大きいと思います。

音色の取り扱いも大切です。このモテットには「軽く、澄んだ、ビブラートを最小に抑えた」声が必要です。しかし誤解をして頂きたくないのは、声自身は活気に満ち響き渡るものでなければならぬという事です。

以上のように、正しくコントロールされた各々の声部が作品を「織りなして」行きます。アンサンブル音楽を語る上で texture (テクスチャ) という重要な言葉があります。英語では衣服で言うと「織り具合」、食べ物で言うと「舌触り」という意味でも使われる単語です。ルネサンス・ポリフォニーの演奏においては、polyphonic texture (「多声的に構成された聴覚的な構造」とでも言いましょうか) が明瞭にわかる演奏をする事が最大の課題となります。そして、このような作品を取り上げる事が声楽的にも上智大学グリークラブと OB 会合唱団の大きな利益になると考え選曲させて頂き、これからも事あるごとにルネサンス・ポリフォニーを研究材料として用いようと考えております。

Doctor of Musical Arts in Choral Conducting and Literature

太田 務

フォトギャラリー ～現役とその部室 くつろぎの時間～



今号では少し現役の日常をのぞいてみました。まずは1枚目。壁にメモなどたくさん貼ってありますね。

手前の二人は音楽について話し合っているのでしょうか。そしてその奥で肘をついている彼がみているものとは、そう、OB会が用意したPCです。有効活用してるかな？



テレビゲームに興じる現役。画面をよくみると10年以上も前に流行ったものだったりします。

そしてその左横にある棚には本がたくさん。でも中身はマンガのような……。



若い彼らのこれからがとても楽しみです。

今回写真撮影に協力してくれた現役の皆さんについては、ほかの仲間と共に5月下旬のファミリーパーティで紹介していただけると思います。

OBの皆様も是非いらして彼らに声をお掛けください。

レッツ トライ！ クロスワードパズル！

網のかかっているマス目を並べると私たちにおなじみの言葉になります。わかるかな～？

【ヨコのカギ】

1. スペインのクラブサッカーチーム。〇〇〇マドリード。
5. 男声テナーとバスの間の声域。必答！
7. インド財閥系企業。〇〇・モーターズ。
8. フランスの「聖王」9世、「太陽王」14世といえば。
9. オーケストラの音合わせによく使用される、狂いの少ない木管楽器。
11. 〇〇〇・オブ・ビールズ！バドワイザーなんてCMによく流れていましたね。

【タテのカギ】

2. 分身。映画のアカデミー賞でも話題になりました。
3. ラピスラズリの和名。
4. 落とすと卒業が危ない！
6. ベンゼン環にメチル基をひとつ置換した有機化合物。
7. 愛媛県今治市が特に産地として有名。
10. 英語表記は「Bookkeeping」。日商〇〇などの資格試験。

正解は次ページ下段をご覧ください。

1	2	3		4
	5		6	
7			8	
9		10		
		11		

広報からのお知らせ

現役及びOB対象のメーリングリストを運営中です。メーリングリストに登録希望の方は、卒年・お名前・登録アドレスを明記の上、以下のアドレスにご返信ください。

上智大学グリークラブOB、現役部員対象のメーリングリスト

info@sophia-gee.com

※OB会では近い将来ニュース等、広報のペーパーレス化を考えております。会員の皆様にはその是非についてメーリングリスト、または田中立夫（S. 35 卒）（tanaka@aoyoko.ch）までご意見をお寄せいただきたく存じます。よろしくお願ひ致します。

クロスワードパズルの答え
正解は「グリー」でした！

レ	ア	ル		タ
	バ	リ	ト	ン
タ	タ	♪	ル	イ
オ	ー	ボ	エ	
ル		キ	ン	グ

（編集） 広報 小倉 充朗（平成8年卒）